

「衛星放送の未来像に関するワーキンググループ報告書を踏まえた BS 右旋の空き帯域の 4K 放送への割当てに関する基本的考え方」に対する意見募集の結果

■ 意見募集期間 : 令和4年6月23日(木)から令和4年7月22日(金)まで

■ 意見提出件数 : 25件(放送事業者・関係団体等)

■ 意見提出者 :

○ 放送事業者等 【12件】 (50音順)

SC サテライト放送株式会社、株式会社 QVC サテライト、スカパーJSAT 株式会社、株式会社 TBS ホールディングス、株式会社テレビ朝日ホールディングス、株式会社テレビ東京ホールディングス、日本放送協会、株式会社 BS-TBS、株式会社 BS 日本、株式会社放送衛星システム、Wireless City Planning 株式会社、株式会社 WOWOW

○ 関係団体 【5件】 (50音順)

一般社団法人衛星放送協会、一般社団法人電子情報技術産業協会、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人放送サービス高度化推進協会

○ 個人 【8件】

「衛星放送の未来像に関するワーキンググループ報告書を踏まえた BS 右旋の空き帯域の 4K 放送への割当てに関する基本的考え方」
 に対して提出された意見及び総務省の考え方

< 1. 全体 >

意見【意見提出者名】	考え方	修正の有無
意見 1 「衛星放送の未来像に関するワーキンググループ報告書を踏まえた BS 右旋の空き帯域の 4K 放送への割当てに関する基本的考え方」(以下「基本的考え方」という。)について賛同。		
<p>○ 『WG 報告書を受け、総務省としても、今後、BS 右旋に一定の空き帯域が確保できた場合には、4K 放送普及の観点から、当該帯域は 4K 放送に割り当てるのが適当であり、そのために 基幹放送普及計画を改正する必要があると考える』ことにつきましては、全面的に賛同致します。</p> <p align="right">【株式会社 QVC サテライト】</p> <p>○ 衛星放送の未来像に関するワーキンググループ報告書に準じた今回の内容に関しては、基本的に賛成である。</p> <p>それに基づいた、基幹放送普及計画の変更にも賛成。</p> <p align="right">【一般社団法人 衛星放送協会】</p> <p>○ BS 右旋の空き帯域の 4K 放送への割当てに関する基本的考え方につきましては賛同いたします。</p> <p>なお、BS 右旋の空き帯域の 4K 放送への新規割当てにあたっては、既存の新 4K8K 衛星放送用受信機が誤作動等不具合を生じることのないよう、ご配慮いただきますことをお願い致します。</p> <p align="right">【一般社団法人 電子情報技術産業協会】</p> <p>○ 特に異論はありません</p> <p align="right">【個人】</p>	<p>基本的考え方に対する賛同の御意見として承ります。</p> <p>BS 右旋の空き帯域の 4K 放送への割当てに当たっては、既存の新 4K8K 衛星放送用受信機が誤作動等不具合を生じることのないよう、関係事業者、関係団体、メーカー、総務省等が問題意識を共有し、協力・連携して取組を進めていくことが重要と考えます。</p>	<p>無</p>

< 2. WG 報告書を受けた BS 右旋の空き帯域の 4K 放送への割当てに関する総務省の考え方について >

意見【意見提出者名】	考え方	修正の
------------	-----	-----

		有無
意見 2-1 BS 右旋に一定の空き帯域が確保できた場合には、当該帯域は 4K 放送に割り当てることについて賛同。		
<p>○ 今後も 4K 受信機内蔵テレビは増加することは確実である一方で、4K 放送のチャンネル数はかなり少ないと思われます。そのため、「BS 右旋において～（中略）～満足度の向上につながることを期待される」という認識は正しいと考えます。</p> <p>今後、BS 右旋に空き帯域が出た場合にそれを 4K 放送に割り当てることは放送視聴者維持のため、適当と考えます。</p> <p style="text-align: right;">【スカパーJSAT 株式会社】</p> <p>○ 「今後、BS 右旋に一定の空き帯域が確保できた場合には、4K 放送普及の観点から、当該帯域は 4K 放送に割り当てることが適当であり、そのために基幹放送普及計画を改正する必要がある」との考え方に賛同します。</p> <p style="text-align: right;">【株式会社 TBS ホールディングス】</p> <p>○ 「BS 右旋に一定の空き帯域が確保できた場合には、4K 放送普及の観点から、当該帯域は 4K 放送に割り当てることが適当であり、そのために基幹放送普及計画を改正する必要がある」との総務省の考え方に賛同いたします。</p> <p style="text-align: right;">【株式会社 WOWOW】</p> <p>○ 4K 放送の更なる普及・発展のため、BS 右旋の空き帯域を 4K 放送に割り当てるために基幹放送普及計画の改正に賛同いたします。</p> <p style="text-align: right;">【SC サテライト放送株式会社】</p> <p>○ 「BS 右旋に一定の空き帯域が確保できた場合には、4K 放送普及の観点から、当該帯域は 4K 放送に割り当てることが適当であり、基幹放送普及計画の変更が必要である」については、賛成。4K 放送の普及は、当初の予想よりも大きく遅れており、4K コンテンツの一層の充実が図られることにより、4K 放送の普及が期待される。そのためには、飛躍的な 4K</p>	<p>基本的考え方に対する賛同の御意見として承ります。</p> <p>視聴者への周知については、関係事業者、関係団体、メーカー等と協力・連携して取組を進めていくことが重要と考えます。</p> <p>また、4K コンテンツの充実のためには、ピュア 4K コンテンツを増やす関係放送事業者の取組や訴求効果の高い周知広報が重要と考えます。総務省においても、こうした考え方を踏まえ、関係事業者、関係団体、メーカー等と協力・連携してピュア 4K コンテンツの充実に向けた取組を進めてまいります。</p> <p>なお、帯域再編のための費用負担については、円滑に帯域再編を遂行するため、まずは関係事業者、関係団体を交えて議論していくことが重要と考えます。</p>	無

テレビ（2K 視聴可能）の普及が、求められる。これを機会に官民一体となった 4K テレビの普及促進活動が必要と考える。

【一般社団法人 衛星放送協会】

- 「ワーキンググループ（以下 WG）報告書を受け、総務省としても、今後、BS 右旋に一定の空き帯域が確保できた場合には、4K 放送普及の観点から、当該帯域は 4K 放送に割り当てることが適当であり、そのために基幹放送普及計画を改正する必要があると考える」と提議されたことに賛同します。

右旋においては、NHK の衛星波 1 波削減や既存事業者の帯域縮減等によって空き帯域が生ずるものと見られます。左旋の受信環境の整備にはなお一定の時間を要するものと見られることから、右旋帯域に新規事業者の参入を促し、新 4K8K 衛星放送の市場を活性化すべきと考えます。

キー局系 BS 放送事業者はすでに右旋において 4K 放送を行っておりますが、国民・視聴者に浸透しているとは言い難い状況です。動画配信サービスの進展やコロナ禍による広告需要への影響もあり、4K 放送の収益化はまだ難しい状況です。商業放送である 4K 放送事業の経営環境をご理解いただき、総務省においては一層の周知広報の強化、支援施策の投入を要望します。

【株式会社テレビ東京ホールディングス】

- 「今後、BS 右旋に一定の空き帯域が確保できた場合には、4K 放送普及の観点から、当該帯域は 4K 放送に割り当てることが適当であり、そのために基幹放送普及計画を改正する必要がある」との総務省の考え方に賛同します。

BS 右旋帯域の 4K 放送への割当てにより、▽受信機器の普及、▽視聴者満足度の向上、▽制作コストの低下、▽コンテンツのマルチユース等が大きく進展することを期待します。

国においては、4K8K 受信機器の一層の普及及び 4K コンテンツの番組制作を支援されるよう要望します。具体的には、▽新 4K8K 衛星放送の魅力伝える周知広報、▽4K コンテンツを制作するための放送設備や放

<p>送機器の導入支援、▽4K コンテンツならではの特長や魅力を活かすノウハウ（制作技術、ワークフローなど）の共有等の施策がのぞまれます。</p> <p style="text-align: center;">【一般社団法人 日本民間放送連盟】</p> <p>○ 4K テレビに対する不満足の原因「新 4K8K 衛星放送のチャンネルが少ない」に応えるには、4K 放送事業者を増やすことであり、BS 右旋の空き帯域が確保できれば 4K 放送に割り当てることは妥当であると考えます。</p> <p>2018 年 12 月の BS4K 開局以降、「4K・8K 推進のためのロードマップ」の普及状況には及んでおらず、事業収支は厳しい状況が続いています。よって、4K8K 受信機器の一層の普及を図るために、新 4K8K 衛星放送の魅力伝える周知広報や、4K コンテンツ制作への国による支援策を期待します。</p> <p style="text-align: center;">【株式会社 BS-TBS】</p> <p>○ BS 右旋の周波数帯を有効利用するための帯域再編は、適切な国の施策であると考えます。帯域再編に関しては、既存 BS 放送の受信者に影響を及ぼさないよう、国が責任を持って十分な検討と対策、国民・視聴者への周知を行うことを要望します。</p> <p>再編のための費用は原因者、受益者が負担すべきものと考えます。受益者以外の既存放送事業者が帯域の移行や関連作業を余儀なくされる場合などは、国の費用負担が必要です。</p> <p>4K・8K 放送市場調査の結果を踏まえ、整理された帯域に 4K を誘致することに異論はありません。</p> <p style="text-align: center;">【株式会社 BS 日本】</p>		
<p>意見 2-2 帯域再編を行うに当たっては、受信機に関する運用規定や ES（エンジニアリングサービス）等について考慮することが必要。</p>		
<p>○ 「BS 右旋において今後一定の空き帯域が確保できた場合には恒常的に 4K 放送の割当てを行うこと」については、新 4K8K 衛星放送の普及推進を担う弊協会としては賛成いたします。</p> <p>この空き帯域の確保のために行なわれる「帯域再編」の実施に当たっては、</p>	<p>基本的考え方に対する賛同の御意見として承ります。</p> <p>帯域再編を行うに当たっては、受信機に関する運用規定に関する対応やテストセンターにおける既存受信機への影響確認の他、ES（エンジニアリングサービス）の扱い等について考慮する必要があることから、関係事業者、関係団体、メーカー、総務省等が問題意識を共有し、協力・</p>	<p>無</p>

<p>①放送設備、受信機にかかわる運用規定の改定、追記など、ARIB 運用規定についても考慮する必要があります。また、既存受信機への影響が無いかなど互換性の確認などのテストセンターの立ち上げや視聴者保護の観点での対応も必要と考えます。</p> <p>②A-PAB が実施している「ES（エンジニアリングサービス）」を右旋の BS17 チャンネル以上の帯域や左旋帯域へ移動させることが無いようお願いします。（理由は、BS アナログ時代のトラポン帯域で送信しないと、受信機の放送局のロゴマークの更新や受信機のバージョンアップデータ等が確実にお届けできないため）</p> <p style="text-align: center;">【一般社団法人 放送サービス高度化推進協会】</p>	<p>連携して取組を進めていくことが重要と考えます。</p>	
--	--------------------------------	--

意見 2-3 総務省として衛星放送の将来像に関する全体的なロードマップを示すことが重要。

<p>○ 放送を取り巻く視聴環境が激変する中で、放送系として BS 右旋・左旋放送、CS 放送が存在し、さらに 2K、4K、8K 等の方式が異なる放送が併存する現状に対し、総務省として衛星放送の将来像をどう描くのか、まず全体的なロードマップを示すことが重要と考えます。</p> <p>基幹放送普及計画を改正するにあたっては、まず衛星放送全体のビジョンを具体的に示した上で、それに基づいた改正により、普及推進、周波数の有効利用等の個々の対応において、はじめて首尾一貫した取り組みが可能になると考えます。</p> <p style="text-align: center;">【株式会社テレビ朝日ホールディングス】</p> <p>○ BS 右旋帯域の 4K 放送への割り当てにより、4K 受信機の普及が進展することを期待します。2018 年 12 月に当社グループ会社の BS-TBS が「BS-TBS 4K」を開局してから 3 年半が経過、当初（2015 年）総務省が描いたロードマップの普及状況に及んでおらず、民間放送事業者としての 4K 放送事業は厳しいものとなっています。</p> <p>国においては、現状に合わせた修正ロードマップを作成し、計画の見直しを行うなど、4K 受信機の一層の普及のための施策及び支援を要望します。</p> <p style="text-align: center;">【株式会社 TBS ホールディングス】</p>	<p>いただいた御意見は参考として承ります。</p> <p>なお、今後の見通しについては、基本的考え方 3（2）のとおり、空き帯域を 4K 放送に割り当てるための帯域再編が完了し、新たに認定を受けた放送事業者が実際に放送を開始するのが 2025 年以降になる見通しであることを踏まえ、この時期を念頭に、必要な検証を経た上で、同一トランスポンダにおいて 2K 放送（映像符号化方式は高度化されることが前提）と 4K 放送とが併存できる環境を整備することなどが考えられます。このような対応を着実に進めることにより、中長期的には周波数の有効利用が一層推進されるとともに、新たな 4K 放送に割り当てる帯域が BS 右旋帯域において繰り返し確保され、事業者の参入機会や視聴者の 4K 放送視聴の機会も一層確保されることが見込まれることから、4K 放送の更なる発展・普及が期待されます。</p> <p>こうした見通しについては、今後関係事業者や関係団体、メーカー等と広く共有し、連携・協力して取組を進めていくことが適当と考えます。</p>	<p>無</p>
---	--	----------

< 3. 右旋の位置付けについて >

意見【意見提出者名】	考え方	修正の有無
意見 3-1 基幹放送普及計画の改正に当たって、右旋を左旋と同様に 4K 等の超高精細度テレビジョン放送の伝送路としても位置付けることについて賛同。		
<p>○ 現在の左旋の受信環境の整備状況を考えると、4K 放送全体の普及のためには、4K 等の伝送路として右旋と左旋を同じ位置づけとすることは、適当と考えます。</p> <p style="text-align: right;">【スカパーJSAT 株式会社】</p> <p>○ BS 右旋において今後一定の空き帯域が確保できた場合、恒常的に 4K 放送の割当てを行うことが適当、とする貴省の考え方に賛同いたします。</p> <p style="text-align: right;">【SC サテライト放送株式会社】</p> <p>○ 「BS 右旋において今後一定の空き帯域が確保できた場合には恒常的に 4K 放送の割当てを行うことが適当」には賛成。現状の 2 トラポン 6 チャンネルから、チャンネル数が最低 3 チャンネル増えることは、4K 放送の普及の大きな要素となる。「基幹放送普及計画の改正に当たっては、右旋を左旋と同様に 4K 等の超高精細度テレビジョン放送の伝送路としても位置付けることが適当である」については、基本的には賛成であるが、左旋の現状を踏まえた対応の検討も必要と考える。</p> <p style="text-align: right;">【一般社団法人 衛星放送協会】</p> <p>○ これまで、ケーブルテレビ事業者は、新 4K8K 放送開始当初より再放送を実施し、普及促進に積極的な貢献を行っており、多くの視聴者がケーブルテレビを通じて新 4K8K 放送を視聴しております。</p> <p>今般、総務省の考え方として「BS 右旋において今後一定の空き帯域が確保できた場合には恒常的に 4K 放送の割当てを行うことが適当」とされており、新 4K8K 放送の普及促進が期待される事から賛同致します。</p> <p>衛星放送の未来像に関するワーキンググループ報告書（以下「WG 報告書」という。）において、新 4K8K 衛星放送の受信環境整備において「左</p>	<p>基本的考え方に対する賛同の御意見として承ります。</p> <p>視聴者への周知については、関係事業者、関係団体、メーカー等と協力・連携して取組を進めていくことが重要と考えます。</p> <p>また、円滑に帯域再編を遂行するためには、関係事業者、関係団体、メーカー等の関係者間で情報共有が行われることが必要であることから、帯域再編に関係する事業者の集まる会合を組成し、適時適切に情報共有を行っていくことが重要と考えます。</p> <p>なお、帯域再編のための費用負担については、円滑に帯域再編を遂行するため、まずは関係事業者、関係団体を交えて議論していくことが重要と考えます。</p>	<p>無</p>

旋帯域で番組を視聴するためには、必要な受信設備を整える」点や「受信方法や必要となる設備改修について視聴者に対する周知広報・情報提供の取組を強化」する点を考慮することが必要とされております。

今後、BS 右旋帯域において 4K 放送が行われた場合、同様に、受信設備の確認・整備や、利用者の受信端末（STB）の再設定などについて、ケーブルテレビ事業者においても視聴者への周知も必要となる事から、これまでの帯域再編と同様に、BS 右旋帯域再編推進連絡会などを通じて、関係者間で前広に情報共有が行われることが必要と考えます。

【一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟】

- 「基幹放送普及計画の改正に当たっては、右旋を左旋と同様に 4K 等の超高精細度テレビジョン放送の伝送路としても位置づけることが適当」とする考え方に賛同します。

空き帯域を確保するための帯域再編に際しては、既存 BS 放送の受信者に影響を及ぼさないよう、国が責任を持って十分な対策と視聴者への周知を行うよう要望します。

再編のための費用は原因者、受益者が負担すべきものと考えます。受益者以外の既存放送事業者に帯域の移行や関連作業が生じる場合は、国の費用負担が必要です。

【株式会社 TBS ホールディングス】

- 今後 BS 右旋の空き帯域には 4K 放送を割当てることが適当との考え方は妥当と考えます。

帯域再編を実施するに当たっては、既存 BS 放送の受信者（視聴者）や放送事業者等の関係各所に影響を及ぼさないように、国が責任を持って対策・周知を実施することが不可欠と考えます。

特に再編により発生する費用が、原因者や受益者ではない既存放送事業者の負担になることのないよう国が費用負担するなど、適切に対応いただくことを要望します。

【株式会社テレビ朝日ホールディングス】

○ 今後の右旋帯域の恒常的な 4K 放送割当てに対して、賛同致します。
認定に当たっては、空き帯域が生じる期間をできるだけ短くしていただくよう要望いたします。

平成 30 年 9 月に公表された、放送を巡る諸課題に関する検討会の第二次取りまとめでは、「基本的には再編成に係る原因者・受益者負担とすることが妥当と考えられるが、国の政策による再編成など、一定の場合には、その一部を国が負担することを検討すべきである。」とされています。国の政策による再編成での公的支援について引き続きご検討をお願いいたします。

【株式会社放送衛星システム】

○ 今後、恒常的に 4K 放送の割当てを行うために、BS 右旋において、空き帯域を確保するための帯域再編が必須と思われます。再編に際しては、既存 BS 放送の受信者に影響を及ぼさないよう、国が責任を持って十分な検討と対策、国民・視聴者への周知を行うべきと考えます。受益者以外の既存放送事業者が帯域の移行や関連作業を余儀なくされる場合などは、国による費用負担が必要と考えます。

【株式会社 BS-TBS】

○ 「基幹放送普及計画の改正に当たっては、右旋を左旋と同様に 4K 等の超高精細度テレビジョン放送の伝送路としても位置付けることが適当である」とする総務省の考え方に賛同します。

但し、右旋の 4K 放送への割当てに伴う帯域再編や受信環境実証等の費用が生じた場合は、原因者・受益者または国が負担すべきであり、既存 BS 事業者に求めることがあってはならないと考えます。

【株式会社テレビ東京ホールディングス】

○ 「基幹放送普及計画の改正に当たっては、右旋を左旋と同様に 4K 等の超高精細度テレビジョン放送の伝送路としても位置づけることが適当」とする総務省の考え方に賛同します。

空き帯域を確保するための帯域再編に際しては、既存 BS 放送の受信者

<p>に影響を及ぼさないよう、国が責任を持って十分な検討と対策、国民・視聴者への周知を行うよう要望します。再編のための費用は原因者、受益者が負担すべきものと考えます。受益者以外の既存放送事業者が帯域の移行や関連作業を余儀なくされる場合などは、国の費用負担が必要です。</p> <p>【一般社団法人 日本民間放送連盟】</p>		
<p>意見 3-2 新たな右旋と左旋の役割を含めた衛星放送の全体像について、視聴者に対して分かりやすい説明を行っていくことが必要。</p>		
<p>○ BS 右旋帯域について、NHK では BS4K のほか、衛星基幹放送の広域性、経済性、大容量性及び高品質性を生かした情報の提供を行う総合放送「BS 1」、外部の事業者の企画・制作能力を放送番組に活用し、過去の優れた文化の保存並びに新たな文化の育成及び普及を促進することを目的とする総合放送「BS プレミアム」を 2K で実施しています。BS 1 では 1 つのチャンネルで 2 番組を同時に放送する「マルチ編成」を行って周波数有効活用の取組を実施しているほか、命と暮らしを守る報道について、首都直下地震や大停電等による放送センター機能停止時にも BS 波で放送を継続可能な仕組みを整えています。NHK は今後、公共メディアとしての価値を維持しつつ、右旋の 2 波 (4K・2K) への整理・削減を実施していく方針です。4K 放送の番組や放送事業者を増やし、4K 放送を市場として確実に立ち上げる施策は賛同しますが、長い年月をかけて受信環境が整えられてきた右旋帯域の利用については引続き公共性に留意する必要があると考えます。また、高精細テレビジョン放送である 2K 放送は右旋、超高精細テレビジョン放送である 4K・8K 放送は左旋というブランドイメージを変えることになるため、新たな右旋と左旋の役割を含めた衛星放送の全体像について、視聴者に対してわかりやすい説明を行っていくことが必要と考えます。</p> <p>【日本放送協会】</p>	<p>基本的考え方に対する賛同の御意見として承ります。</p> <p>視聴者に対して、基幹放送普及計画の改正を踏まえた衛星放送の右旋と左旋の位置付けに関する周知をすることは重要と考えており、関係事業者、関係団体等と協力・連携して分かりやすい説明を行ってまいります。</p>	
<p>意見 3-3 BS4K 右旋の新規募集に当たっては、これまでの 4K 放送の実績を考慮すべき。</p>		
<p>○ BS4K 右旋の新規募集にあたっては、これまでの 4K 放送の実績をご考慮いただければ幸いです。弊社は、新 4K8K 衛星放送においては、世界初となる非圧縮 4K IP 対応及び HDR での生放送システムを採用し、2018 年 12 月 1 日放送開始初日よりピュア 4KHDR 比率 100%で放送している唯一の放送事業者として事業を継続しております。</p>	<p>いただいた御意見については、BS 右旋の空き帯域の 4K 放送への割当てに関する検討を行う際の参考とさせていただきます。</p>	<p>無</p>

<p>弊社のチャンネルが現在の免許事項の下、BS4K 右旋で放送されれば、BS4K 右旋プラットフォームのピュア 4K 比率が大幅に向上し、視聴者はより多くのピュア 4K 番組を享受できるようになります。</p> <p>今後とも、フロントランナーとして 4K8K 放送の更なる普及・発展に貢献して参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。</p> <p style="text-align: center;">【株式会社 QVC サテライト】</p> <p>○（左旋帯域で 4K 放送を開始している）4K 放送事業者は既に衛星基幹放送において視聴者の支持を得ており、且つ 4K 放送の設備を既に保持し技術的ノウハウや知見を有しており、早期の放送開始が可能であることから、BS 右旋での 4K 放送募集に際して、右旋空き帯域への移動を希望した場合、優先的に参入できるよう考慮されることが、4K 放送の早期普及に利すると考えます。</p> <p>また総合通販チャンネルは、</p> <p>①昨今地方都市での店舗の廃業・百貨店の統廃合等、従来型の小売業が衰退傾向にあることから、地方在住並びに高齢者などが「買い物弱者」になる社会問題が顕在化しております。</p> <p>総合通販チャンネルは、放送の視聴のみで多種多様な商品を理解でき、注文・配送が簡便に可能なことから「買い物弱者」問題の解決に一定の寄与が可能。</p> <p>②総合通販チャンネルで各地域の埋もれた逸品を放送することは地方創生の一助となり得ることから BS 右旋 4K で放送することは多くの国民に利すると考えます。</p> <p style="text-align: center;">【SC サテライト放送株式会社】</p>		
---	--	--

< 4. 2K 放送を行う放送事業者による対応について >

意見【意見提出者名】	考え方	修正の有無
意見 4-1 新たな映像符号化方式の導入を検討することについて賛同。		
○ 新たな映像符号化方式の採用に当たっては、有限な衛星放送周波数の有効利用の観点からは基本的に賛同いたします。一方で、衛星放送全体への影響が大きいと見られるため、受信者保護や、現実的な新規放送事業者の参入状況	基本的考え方に対する賛同の御意見として承ります。 新たな映像符号化方式の導入に関する検討については、関係事業者、関係団体、メーカー等と協力・連携して、技術の進展や移行に伴う負担	無

<p>を踏まえた判断が必要であり、総務省主導のもと関連する制度設計を進めていただくようお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">【日本放送協会】</p> <p>○ 貴省の考え方に賛同いたします。</p> <p>なお、既存の 2K 放送事業者の映像符号化方式の高度化が考えられておりますが、その方式に変更された場合、4K 放送に割当てられるチャンネル数及びスケジュール感を示していただけることを希望します。</p> <p style="text-align: center;">【SC サテライト放送株式会社】</p> <p>○ 既存の 2K 放送事業者の 4K 化への移行は、現在の 4K テレビの普及状況からは難しい。サイマル放送も考えられるが、有効利用の観点から望ましくない。将来的な映像符号化方式の導入の検討には、大いに賛成。これに向けてのロードマップの早期な作成が必要と考える。現在行われているサイマル放送（2 トラポン）の終了が行われる環境づくりも重要である。</p> <p style="text-align: center;">【一般社団法人 衛星放送協会】</p>	<p>とのバランスを踏まえて検討を進めていくことが重要と考えます。</p>	
<p>意見 4-2 「2K 放送の映像符号化方式の高度化についてはあくまで事業者の選択に委ねることが必要となる」「現行 2K 放送の HEVC・VVC 化に際しては、受信者保護についても十分に配慮する必要がある」との総務省の考え方に賛同。</p>		
<p>○ 現行 2K 放送の HEVC・VVC 化は、受信者保護を十分に配慮し、判断は事業者委ねられるものと考えます。</p> <p style="text-align: center;">【株式会社 BS 日本】</p> <p>○ 現行 2K 放送の映像符号化方式の高度化は、受信機器の更新を多くの視聴者に求めることになる等の課題が存在します。衛星放送事業を今後も維持・発展させていく観点から、高度化について事業者の選択に委ねるとした点や、受信者保護への十分な配慮が必要とした考え方は大変重要であり、賛同します。</p> <p style="text-align: center;">【株式会社テレビ朝日ホールディングス】</p> <p>○ 既存の 2K 放送について、2025 年以降を見据えた映像符号化方式の高度化への対応が、今回初めて提示されました。既に広く普及し視聴されてい</p>	<p>基本的考え方に対する賛同の御意見として承ります。</p> <p>2K 放送の映像符号化方式の高度化についてはあくまで事業者の選択に委ねるものではありませんが、既存の 2K 放送の映像符号化方式を高度化した場合には、周波数の有効利用が一層推進されるとともに、新たな 4K 放送に割り当てる帯域が確保され、4K 放送がさらに発展・普及することが期待されます。再編計画の概要については、映像符号化方式の高度化に向けた環境の整備に関する検討と合わせて検討し、関係事業者、関係団体、メーカー等の関係者間で情報共有することが重要と考えます。</p>	<p>無</p>

る 2K 放送の将来像については、放送事業者が経営環境や視聴者利益等を踏まえて自ら判断し、選択すべきものです。本案の「2K 放送の映像符号化方式の高度化についてはあくまで事業者の選択に委ねることが必要となる」「現行 2K 放送の HEVC・VVC 化に際しては、受信者保護についても十分に配慮する必要がある」との考え方は適切です。

総務省は、既存放送事業者の経営環境・事業状況を考慮し、意見を十分に聴取した上で、今後の政策に反映していただくよう要望します。

【株式会社 TBS ホールディングス】

- 今回、考え方を示していただいた「2K 放送の映像符号化方式の高度化についてはあくまで事業者の選択に委ねることが必要」という点については、放送事業者の現状に配慮をいただいた内容と思われ、賛同いたします。

また「現行 2K 放送の HEVC・VVC 化に際しては、受信者保護についても十分に配慮する必要」という点も賛同いたします。

有料放送事業者は、提供する放送サービスが、視聴者から評価をいただいて得られる視聴料収入により、成り立っています。「2K 放送から 4K 放送への高度化」や「映像符号化方式の高度化」は、視聴者の視聴環境、利便性、さらに自社の経営状況を総合的に考慮し、事業者自ら判断すべきものと考えます。

また今回お示しいただいた「既存の 2K 放送についての自発的な映像符号化方式の高度化/4K 放送への変更」については、移行プロセス等含む再編計画の概要をお示しいただくことを望みます。

【株式会社 WOWOW】

- 2K 放送の今後の扱いについて、総務省としての考えが初めて明らかにされ、2025 年以降を念頭に、4K 放送への高度化と共に、「映像符号化方式の高度化（HEVC・VVC 化）」等の検討が示されました。

2K 放送の事業展開や経営の在り方については、当該事業者が自ら判断するものと考えます。こうした観点から、総務省が放送事業者の自発的な対応を強調し、「あくまで事業者の選択に委ねることが必要となる」との

<p>考え方を示したことは妥当です。技術方式の変更等の高度化を一方向的に強制されることがないように要望します。</p> <p>キー局系 BS 放送事業者は 4K 放送の普及促進に積極的に取り組んでいますが、2025 年以降の先行きは不透明です。新たな技術方式への移行は、その受信環境が十分に整い、現行の視聴者に影響がないことが前提です。高度化を急ぐあまり、現行の 2K 放送を視聴できなくなる層が少なからず発生することになれば、結果的に視聴者の BS 離れ、さらに広告主の BS 離れを招きかねません。</p> <p>総務省におかれては当該放送事業者の意見を十分に聞き取り、丁寧に検討を進めるよう求めます。</p> <p style="text-align: center;">【株式会社テレビ東京ホールディングス】</p> <p>○ 既存の 2K 放送について、自発的な 4K 放送への高度化や、自発的な映像符号化方式の高度化が、今回初めて例示されました。広く視聴されている 2K 放送の将来像は、当該放送事業者が経営環境や視聴者利益を踏まえ、自ら判断し、選択すべきものです。したがって「2K 放送の映像符号化方式の高度化についてはあくまで事業者の選択に委ねることが必要となる」「現行 2K 放送の HEVC・VVC 化に際しては、受信者保護についても十分に配慮する必要がある」との考え方は適切です。</p> <p>総務省は当該放送事業者の意見をしっかりと聴取した上で、今後の政策に反映していただくよう要望します。</p> <p style="text-align: center;">【一般社団法人 日本民間放送連盟】</p>		
<p>意見 4-3 今後の技術の高度化を踏まえ、4K 放送には足りないものの 2K 放送は実施できる空き帯域が出た場合には、周波数の有効活用のため、2K 放送の割当てを行うことも選択できるようにすることが適当。</p>		
<p>○ 現在、BS での 4K 放送は 1 トランスポンダで 3 チャンネルを放送していますが、今後の技術の高度化で、より少ない帯域で 4K 放送ができるものと予想されます。その際に、4K 放送を行うトランスポンダで、4K 放送には足りないですが 2K 放送は実施できる空き帯域が出た場合には、周波数の有効活用のため、2K 放送の割当てを行うことも選択できるようにすることが適当と考えます。</p> <p>なお、上記 4K 放送と同じトランスポンダ行う 2K 放送の映像符号化方</p>	<p>いただいた御意見は、今後右旋帯域に空き帯域が生じた場合の当該帯域の割当てに関する検討を行う際の参考とさせていただきます。</p> <p>基本的考え方 3(2)のとおり、空き帯域を 4K 放送に割り当てるための帯域再編が完了し、新たに認定を受けた放送事業者が実際に放送を開始するのが 2025 年以降になる見通しであることを踏まえ、この時期を念頭に、必要な検証を経た上で、同一トランスポンダにおいて 2K 放送(映像符号化方式は高度化されることが前提)と 4K 放送とが併存でき</p>	<p>無</p>

<p>式については、現在発売されている 4K 放送内蔵受信機で受信できる方式であることが望ましいです。</p> <p style="text-align: center;">【スカパーJSAT 株式会社】</p>	<p>る環境を整備することが考えられます。</p>	
<p>意見 4-4 2K 放送の映像符号化方式の高度化については、十分な技術的検証と視聴者保護への配慮が必要。</p>		
<p>○ 2K 放送の映像符号化方式の高度化については、十分な技術的検証と視聴者保護への配慮をお願いいたします。</p> <p>また、1 トランスポンダーに多くの放送事業者が収容される場合には、技術的な対応が必要とされるため、計画的な移行を要望いたします。</p> <p style="text-align: center;">【株式会社放送衛星システム】</p> <p>○ また、総務省の考え方において「必要な検証を経て、同一トランスポンダにおいて 2K と 4K 放送とが併存できる環境の整備が考えられる」とされており、ケーブルテレビを通じた受信を行っている環境下においても、既存の受信端末（STB）が新たな方式の信号を受信しても誤動作を起こすことなく正常に動作することや、新たな 4K 放送を正常に受信できることの検証が必要と考えます。この検証を行うにあたり、WG 報告書には、「帯域再編に係る費用負担の在り方について関係事業者・団体において議論すべきである」とされており、今後の検証やケーブルテレビ事業者の対応にかかる負担についても考慮が必要と考えます。</p> <p style="text-align: center;">【一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟】</p>	<p>いただいた御意見は、2K 放送の映像符号化方式の高度化に関する検討を行う際の参考とさせていただきます。</p> <p>2K 放送の映像符号化方式の高度化に関する技術的な検証を行うに当たっては、これまで実施した技術的な検証も踏まえつつ、関係事業者、関係団体、メーカー等と協力・連携して、進めていくことが重要と考えます。</p>	<p>無</p>
<p>意見 4-5 ARIB 運用規定の改定や追記のための事前の準備作業・期間についても考慮することが必要。</p>		
<p>○ 「なお、2K 放送の映像符号化方式の高度化としては、高度広帯域伝送方式での映像符号化方式（HEVC）や次世代の映像符号化方式（VVC）等が考えられ、技術の進展や移行に伴う負担とのバランスを踏まえて検討する必要がある。また、現行 2K 放送の HEVC・VVC 化に際しては、受信者保護についても十分に配慮する必要がある」と言及されていますが、改めて放送設備、受信機にかかわる運用規定等の改定、追記など、ARIB 運用規定についても、考慮する必要があり、規定の改定や追記のための事前の準備作業・期間についても考慮する必要があります。そして、既存受信機への影響等、視聴者保護へ十分な配慮をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">【一般社団法人 放送サービス高度化推進協会】</p>	<p>いただいた御意見は、2K 放送の映像符号化方式の高度化に関する検討を行う際の参考とさせていただきます。</p> <p>2K 放送の映像符号化方式の高度化に関する技術的な検証を行うに当たっては、既存受信機への影響や視聴者保護の観点も踏まえつつ、関係事業者、関係団体、メーカー等と協力・連携して進めていくことが重要と考えます。</p>	<p>無</p>

意見 4-6 既存の 2K 放送事業者が自発的に映像符号化方式の技術的進展に対応するためには、高度化へのロードマップの策定など、国による施策が必要。		
<p>○ 周波数有効利用の促進のため、既存の 2K 放送事業者が自発的に映像符号化方式の技術的進展に対応するには、放送事業者設備のみならず視聴者の受信環境の整備が必須です。放送事業者側の努力だけでは相当の時間が掛かることが想定され、受信者保護に十分に配慮した高度化へのロードマップの策定など、国による施策が必要であると考えます。</p> <p style="text-align: right;">【株式会社 BS-TBS】</p>	<p>いただいた御意見は参考として承ります。</p> <p>なお、今後の見通しについては、基本的考え方 3(2)のとおり、空き帯域を 4K 放送に割り当てるための帯域再編が完了し、新たに認定を受けた放送事業者が実際に放送を開始するのが 2025 年以降になる見通しであることを踏まえ、この時期を念頭に、必要な検証を経た上で、同一トランスポンダにおいて 2K 放送（映像符号化方式は高度化されることが前提）と 4K 放送とが併存できる環境を整備することなどが考えられます。このような対応を着実に進めることにより、中長期的には周波数の有効利用が一層推進されるとともに、新たな 4K 放送に割り当てる帯域が BS 右旋帯域において繰り返し確保され、事業者の参入機会や視聴者の 4K 放送視聴の機会も一層確保されることが見込まれることから、4K 放送の更なる発展・普及が期待されます。</p> <p>こうした見通しについては、今後関係事業者や関係団体、メーカー等と広く共有し、連携・協力して取組を進めていくことが適当と考えます。</p> <p>また、2K 放送の映像符号化方式の高度化については、技術の進展や移行に伴う負担とのバランスを踏まえて検討する必要があるとともに、受信者保護についても十分に配慮する必要があると考えます。</p>	無

< 5. 認定基幹放送事業者の公募の際、引き続き BS・CS の事業実態に応じた対応を行うことについて >

意見【意見提出者名】	考え方	修正の有無
意見 5 認定基幹放送事業者の公募の際、引き続き BS・CS の事業実態に応じた対応を行うことについて賛同。		
<p>○ 「東経 110 度 CS 右旋においては、BS 右旋とは異なり、空き帯域の公募で 4K 放送を優先する状況に至っておらず、引き続き 2K 放送への割当てを前提として対応」との考え方は、東経 110 度 CS 右旋の現状を十分踏まえたもので適切と考えます。</p> <p style="text-align: right;">【株式会社テレビ朝日ホールディングス】</p> <p>○ 現在の環境を考慮すると、110 度 CS 右旋においては、「当面の間、引き続き 2K 放送への割当てを前提とした対応を行うことが適当である」とする</p>	<p>基本的考え方に対する賛同の御意見として承ります。</p>	無

<p>ことに賛同します。</p> <p style="text-align: right;">【スカパーJSAT 株式会社】</p> <p>○ 貴省の考え方に賛同いたします。</p> <p style="text-align: right;">【SC サテライト放送株式会社】</p> <p>○ 「東経110度CS右旋においては、BS右旋とは異なり、一定の空き帯域が発生し公募を行う場合、4K 放送を常に優先するという状況には至っていないことから、当面の間、引き続き 2K 放送への割当てを前提とした対応を行うことが適当である。」には賛成。現在の状況は、ご指摘の通りである。将来的な映像符号化方式の導入等と並行して検討されるべきと考える。</p> <p style="text-align: right;">【一般社団法人 衛星放送協会】</p>		
---	--	--

< 6. 基幹放送普及計画における左旋の位置付けについて >

意見【意見提出者名】	考え方	修正の有無
意見 6-1 左旋帯域について、新たなサービスへの活用可能性に関して検討することについて賛同。		
<p>○ 左旋帯域の未使用帯域の活用に関して、新たなサービスへの活用の可能性に関する検討に賛同いたします。</p> <p>当社としても本取組に最大限協力したいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【株式会社放送衛星システム】</p> <p>○ 左旋の新たなサービスへの活用の方策を検討され、中期的に右旋と左旋それぞれの位置づけについて必要な規定ぶりを検討されることに賛同します。</p> <p style="text-align: right;">【スカパーJSAT 株式会社】</p> <p>○ 「いまだに左旋帯域が十分に有効活用されているとは言いがたい状況であることから、新たなサービスへの活用可能性の検討が適当」との考え方に賛同します。</p> <p>左旋帯域の有効活用を促進する観点から、4K・8K 放送の可能性を見極</p>	<p>基本的考え方に対する賛同の御意見として承ります。</p>	<p>無</p>

<p>めた上で、できるだけ早い段階で基幹放送普及計画の改正に反映することが重要と考えます。</p> <p style="text-align: center;">【株式会社テレビ朝日ホールディングス】</p> <p>○ 「今後左旋の新たなサービスへの活用の方策を検討しつつ、中期的には、(中略)右旋と左旋それぞれの位置付けについて必要な規定ぶりを検討する」という考え方に賛同します。</p> <p>左旋帯域を活用する新たなサービスにおいて、研究開発・実証等の費用は受益者負担または国費等を充当すべきと考えます。新サービスとは関係のない放送事業者の衛星利用料等に転嫁されることがあってはなりません。</p> <p style="text-align: center;">【株式会社テレビ東京ホールディングス】</p> <p>○ 「今回の基幹放送普及計画の改正に際して左旋の新たなサービスへの活用の方策を検討しつつ、中期的には、現行の基幹放送普及計画と同様に、右旋と左旋それぞれの位置づけについて必要な規定ぶりを検討することが適当である」に基本的には賛成であるが、既存の事業者の現状から、早期な対応が必要である。</p> <p style="text-align: center;">【一般社団法人 衛星放送協会】</p>		
<p>意見 6-2 左旋での新たなサービスへの活用可能性の検討と並行して、左旋チャンネルの普及促進、視聴環境の整備のための施策を継続すべき。</p>		
<p>○ 左旋での新たなサービスへの活用可能性の検討と並行して、左旋チャンネルの視聴促進のための施策を引き続き展開いただくよう要望します。</p> <p>総務省は左旋チャンネルの放送事業者の意見をしっかりと聴取し、今後の政策に反映していただくよう要望します。</p> <p style="text-align: center;">【一般社団法人 日本民間放送連盟】</p> <p>○ 「新たに衛星放送用受信設備を設置する際の適切な施工方法や受信方法に関する周知等と並行して、左旋については引き続き 4K・8K 放送での活用を前提としつつも、今後、新たなサービスへの活用可能性について検討を進めていくことが適当である」との方向性は賛成いたしますが、</p>	<p>基本的考え方に対する賛同の御意見として承ります。</p> <p>左旋については引き続き 4K・8K 放送での活用を前提としつつ、新たなサービスへの活用可能性について検討を進めていくことが重要であり、左旋で放送を行っている事業者の状況も踏まえつつ、引き続き、新たに衛星放送用受信設備を設置する際の適切な施工方法や受信方法に関する周知等の普及促進に取り組むことが適当と考えます。</p>	<p>無</p>

<p>①既に費用をかけて左旋の受信設備を整備した視聴者にとってもメリットがあり、また新たな負担を強いることが無いようなサービスのあり方のご検討をお願いいたします。</p> <p>②今後の左旋の新たなサービスを検討される際、そのサービスの普及施策とともに、左旋衛星放送の普及施策について、国の支援をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">【一般社団法人 放送サービス高度化推進協会】</p> <p>○ 左旋チャンネルの普及促進、視聴環境の整備のための施策につきましては、今後とも継続していただきますようお願いいたします。</p> <p>新たなサービスの利活用の検討におきましては、現在、左旋で放送サービスを行っている放送事業者の意見、現状や課題などをくみ取っていただいた上で、推進いただきますよう要望いたします。</p> <p style="text-align: center;">【株式会社 WOWOW】</p> <p>○ BS 左旋帯域について、既築の住宅を中心に左旋対応アンテナへの交換や建物内の伝送機器の更新が必要となっています。新 4K8K 衛星放送の受信環境の整備に今後も着実に取り組み、左旋帯域の有効活用と普及促進を高める方策を継続的に進めていくことが必要と考えます。現在のロードマップでは 2025 年頃に「4K 及び 8K 実用放送のための伝送路として位置づけられた BS 左旋及び 110 度 CS 左旋において多様な実用放送の実現・右旋の受信環境と同程度に左旋の受信環境の整備が進捗（イメージ）」となっています。同普及計画を見直す場合は、目指すべき衛星放送全体のサービスイメージを明確にした上で、今後のロードマップの検討と作成が必要と考えます。また、新たなサービス活用への可能性の検討に当たっては、国として十分な支援を検討いただくとともに、既存放送事業者と視聴者への影響が出ないようお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">【日本放送協会】</p>		
<p>意見 6-3 BS 右旋の空き帯域の 4K 放送への割当てにおいて、左旋の受信環境が右旋に比して劣後していることを踏まえ、左旋事業者が右旋への移動を希望する場合は、特段の考慮をすべき。</p>		
<p>○ 今般、「(前略) 今回の基幹放送普及計画の改正に際して左旋の位置づけ</p>	<p>いただいた御意見については、BS 右旋の空き帯域の 4K 放送への割当</p>	<p>無</p>

<p>を変更しないものの、今後左旋の新たなサービスへの活用の方策を検討しつつ、中期的には、現行の基幹放送普及計画と同様に、右旋と左旋それぞれの位置づけについて必要な規定ぶりを検討することが適当」とされており、その中で、当社は BS 左旋帯域で 2018 年 12 月より 4K 放送を行っておりますが、4K 受信機器の出荷は堅調に推移していると考えますが、BS 左旋の受信環境は BS 右旋に比して劣後するため、経営的に厳しい状況が続いております。BS 左旋の受信環境が大きく改善しない場合、BS 左旋での今後の事業継続が不確実・不透明になっていく懸念が生じてまいります。</p> <p>従い、今般の BS 右旋の空き帯域の 4K 放送への割当てにおいて、左旋事業者が右旋への移動を希望する場合は、特段のご考慮をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">【SC サテライト放送株式会社】</p>	<p>てに関する検討を行う際の参考とさせていただきます。</p>	
<p>意見 6-4 BS 左旋帯域で新たな割当てを行う場合、BWA と重複している空き帯域は干渉の影響を及ぼす可能性等の懸念があることから、影響確認を十分に行うことを要望。</p>		
<p>○ 個別の論点に関する総務省の考え方「(4) 基幹放送普及計画における左旋の位置付けについて」において、「今回の基幹放送普及計画の改正に際して左旋の位置付けを変更しないものの、今後左旋の新たなサービスへの活用の方策を検討しつつ、中期的には、現行の基幹放送普及計画と同様に、右旋と左旋それぞれの位置付けについて必要な規定ぶりを検討することが適当」と示されておりますが、一部帯域については BWA に関する懸念があることから、BS 左旋帯域における留意すべき点として意見を述べさせていただきます。</p> <p>BS 左旋帯域において、今後、新たな割当てを行う際、BWA と重複している空き帯域は干渉の影響を及ぼす可能性があるため、まずは割当て済の 8ch、12ch、14ch の有効利用を図り、更にチャンネルの追加が必要な場合は、BWA と重複しない周波数帯域から利用を開始していただくことを要望します。</p> <p>また、BWA と重複する新たなチャンネルの追加において、既に割当てられた 3 チャンネルの商用サービス開始後の中間周波数と既存無線局との混信の実態調査や BWA と重複するチャンネルの試験電波による影響確認を十分</p>	<p>受信環境の整備を進めていくに当たり、中間周波数による既存無線局への干渉を防止するための取組に関する御意見については、今後の BS 左旋帯域で新たな割当てに関する検討を行う際の参考とさせていただきます。</p>	<p>無</p>

<p>に行うことなどを要望します。</p> <p>加えて、追加チャンネルの商用サービス開始後も、行政、受信機メーカー様、放送事業者様、電気工事業者様などの関係者が、適切な役割分担のもと、漏洩が発生した場合の基準に合致しない受信設備の置き換えや不正な工事の是正への適切な対応や、「情報通信審議会技術分科会放送システム委員会報告書（平成 29 年 7 月 12 日）」の今後の課題にもあるような、施工後の簡易測定器による漏洩確認方法や適切な施工を担保するための施工資格の必要性、また 4K・8K 実用放送（左旋円偏波を利用）の受信設備が普及するうえで環境の変化などを確認できるよう、関係者の連絡会等の設置を検討することが望ましいと考えます。</p> <p style="text-align: right;">【Wireless City Planning 株式会社】</p>		
--	--	--

<7. 左旋の新たな活用方策について>

意見【意見提出者名】	考え方	修正の有無
意見 7-1 左旋の新たなサービスへの活用方策についての提案		
<p>○ 左旋帯域の有効活用方策については、国全体での検討となるよう望んでいます。ここでは、検討の端緒となるよう検討案の例を以下に掲げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4K8K パブリックビューイング専用チャンネル （中継現場から BS 車載局により直接アップリンクするもので常時放送ではなくイベント時のみの放送とするもの） ・ 汎用データ放送 （データ放送を主体として一部多元映像なども組み合わせて送信するもの） ・ デジタルシネマ配信 （全国の映画館に配給する手段として使用するとともに、有料会員も視聴可能とするもの） ・ ダウンロード放送 （中継器全体を使用して大容量ファイルをローカルサーバーやサインページ等に向けて全国一斉に配信するもの） ・ 衛星 CDN 	<p>いただいた多様な御意見については、今後の左旋の新たなサービスへの活用方策に関する検討を行う際に活用させていただきます。</p>	<p>無</p>

<p>(地上通信ネットワーク網の迂回路として衛星を利用するもの) 【株式会社放送衛星システム】</p> <p>○ 左旋の新たなサービス活用方策として、衛星の広域性や耐災害性を活かし、災害時の地上デジタル放送を被災地等に確実に届けるバックアップ放送や、衛星放送の限定受信機能の活用による老朽化した難視聴施設利用者向けの代替放送等の可能性もあるものと考えております。</p> <p>そうした用途においては限られた周波数帯域でより多くのチャンネルが確保できる2K放送が有効である場合も考えられます。基幹放送普及計画における左旋の新たな活用方策としての検討を要望いたします。</p> <p>【スカパーJSAT 株式会社】</p>		
--	--	--

意見7-2 4K放送の普及には、4Kテレビ(2K視聴可能)の普及が重要。官民一体となりロードマップを作成し、受信者保護に十分配慮された対応がなされるべき。

<p>○ ① 左旋の新たなサービスへの活用方策に関する意見募集で具体的な早期実現可能な方策が出てくることに期待する。</p> <p>② 4K放送の普及には、4Kテレビ(2K視聴可能)の普及が重要な要素である。有効利用の観点から出来るだけ早急にサイマル放送の終了を行うべきである。放送事業者の費用軽減にもつながり、コンテンツ投資への可能性が増える。4Kテレビ(2K視聴可能)の普及は、官民一体となりロードマップを作成し、受信者保護に十分配慮された対応がなされるべきである。</p> <p>【一般社団法人 衛星放送協会】</p>	<p>基本的考え方に対する賛同の御意見として承ります。</p> <p>4K放送の普及には2K放送も視聴可能な4Kテレビの普及が重要という御指摘も考慮しつつ、未来象WG(※)報告書や基本的考え方を踏まえ、関係事業者、関係団体、メーカー、総務省等が問題意識を共有し、協力・連携して取組を進めていくことが重要と考えます。</p> <p>※衛星放送の未来像に関するワーキンググループ(主査:伊東 晋 東京理科大学名誉教授)</p>	<p>無</p>
--	---	----------

意見7-3 BS左旋の新たなサービスなどの検討に際しては、ケーブルテレビ事業者も含めた検討が必要。

<p>○ 今後のBS左旋の新たなサービスなどの検討に際しては、WG報告書には「関係事業者との連携の下、適宜検討をすすめていくべきである」とされており、これまでの新4K8K放送の視聴環境を提供してきているケーブルテレビ事業者も含めた検討が必要と考えます。</p> <p>【一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟】</p>	<p>基本的考え方に対する賛同の御意見として承ります。</p> <p>4K放送の普及に向けては、未来象WG報告書や基本的考え方を踏まえ、ケーブルテレビ事業者を含む関係事業者、関係団体、メーカー、総務省等が問題意識を共有し、協力・連携して取組を進めていくことが重要と考えます。</p>	<p>無</p>
--	---	----------

<8. その他>

意見【意見提出者名】	考え方	修正の有無
------------	-----	-------

意見 8-1 4K・8K 放送の推進政策は間違いであり、廃止するべき。		
<p>○ 4K8K 放送の推進政策は間違いであり、廃止するべきである。</p> <p>国民の本当に求める放送政策は高画質化では無く、全国均一で同一の番組が 47 都道府県で視聴できることである。</p> <p>また、BS17～23ch 以上の周波数に対応できない 1990 年代のアンテナ線・分配器・ブースターの交換は今の資源高騰・賃金さがり続ける経済情勢から波及する住宅の新築及びリフォームの停滞から更新される見込みは無い。</p> <p>衛星放送のチャンネル政策は BS 右旋 1～15ch を最も需要のある 2K 放送に割り当て、需要が無いチャンネルを 17～23ch 右旋 CS に移動させ、1990 年代の古い設備でも利用できるよう CATV 用が普及していない地域で 108～470MHz に BS 右旋 17～23ch、CS 右旋 1～4ch に流す BS アンテナを普及させ、TV も 108～470MHz に BS 右旋 17～23ch、を受信可能なタイプを作る方が利用可能な周波数が低い予算で効率的に普及可能である。</p> <p>TV をそのまま使用する場合はアップコンバーターで信号を本来の 1335MHz 以上に戻して使うようにする。</p> <p>BS 右旋 1～23ch、CS 右旋 1～4ch で既存の BS・CS の大半を賄えば、国内の放送需要の大半を賄う事が出来る為、主に民間放送の経営状況が改善する。</p> <p>また、BS 放送で大半の需要を満たす事が出来れば 124・128CS 放送で BS と重複している放送を削減できる為、普及する事がありえない BS 左旋より利用可能なアンテナ線・分配器・ブースターが普及している CS 放送用配線設備で「本当に 4K 放送をやりたい映画・スポーツ中継専門チャンネル」だけの専用帯域を 124・128CS 放送に集中させる事が出来る。</p> <p>BS 右旋の空き帯域及び既存の 4K 放送への割当てという間違った政策は絶対に廃止するべきである。</p> <p style="text-align: right;">【個人】</p>	<p>いただいた御意見は参考として承ります。</p> <p>なお、未来像 WG 報告書において、今後、BS 右旋帯域において一定帯域が確保できた場合には、当該帯域は 4K 放送に割り当てるべきとの提言があったところです。当該報告書や基本的考え方を踏まえ、放送事業者・メーカー等との連携の下、受信方法や多彩な 4K コンテンツに関する周知広報活動の強化など、4K・8K 放送の普及に向けた取組等を進めてまいります。</p>	無
意見 8-2 BS 右旋の空き帯域を 4K 放送へ割り当てる際には、左旋対応のアンテナ・チューナーの普及状況や 2K 放送しか対応できていない家庭が多いことを踏まえて実施するべき。		
○ 今年春の BS 新局の開局をもって、2K(HD) 放送の整備は一段落したもの	いただいた御意見は参考として承ります。	無

<p>と考えられるので、BS 右旋の空き帯域を 4K 放送へ割り当てること自体には賛成するが、割り当てに際しては以下で述べる 2 点を踏まえて実施いただきたい。</p> <p>1 つ目は、BS 右旋が左旋に比べて対応するアンテナ・チューナーが多いことに鑑み、原則として右旋の空き帯域は多くの方が視聴することができる無料民間放送又は公共放送に割り当てることとし、有料民間放送は左旋への割り当てで対応することである。</p> <p>2 つ目は、依然として 2KBS 放送にしか対応できていない家庭も多いことから、2K 放送も当面の間は存続し、地デジ化の時のように国が一方向的に放送事業者に対して 2K 放送から 4K 放送への転換を迫ることはないようにすることである。</p> <p style="text-align: right;">【個人】</p>		
<p>意見 8-3 TV 放送以外のアプリケーションも含めて公平な割当てを検討すべき。</p>		
<p>○ もはや電波によるブロードバンド TV 放送の時代ではなくなったという現状認識に基づいて基本的考えの見直しを行う必要があるかと愚考する。</p> <p>TV 放送を優遇することなく TV 放送以外のアプリケーションも含めて公平な割当て検討を行うべきである。</p> <p style="text-align: right;">【個人】</p>	<p>いただいた御意見は参考として承ります。</p>	<p>無</p>
<p>意見 8-4 空き帯域については楽天モバイルに割り当てるべき。</p>		
<p>○ テレビは需要が落ちていることから、空き帯域については楽天モバイルに割り当てるべき</p> <p>NHK の不祥事、悪質な契約の強要、各局の偏向報道により、信頼と需要は取り返しのつかない域まで達しています。</p> <p>反面、携帯市場は拡大し、電波が逼迫しており、中でも楽天モバイルは低めの帯域の割り当てが一切ないです。全体を見れば、楽天モバイルへの割り当てが最適です</p> <p style="text-align: right;">【個人】</p>	<p>いただいた御意見は参考として承ります。</p>	<p>無</p>
<p>意見 8-5 料金体系について議論をするべき。</p>		
<p>○ 正直、こんな割り当てしたところで加入者が増えるとは思えない。</p> <p>BS/CS110 度放送用のチューナーは地デジと混合チューナーになっている</p>	<p>料金体系については、今回の意見募集の対象としておりませんが、いただいた御意見は参考として承ります。</p>	<p>無</p>

<p>ため、対応アンテナを設置配線すれば、スカパーの一部専門チャンネルも視聴可能で専用チューナーいらすが、放送法の関係でNHKの地上&衛星放送契約（基本料相当？）が実質必須となっており（スカパープレミアムも同様）、比較でいえばNetflixやアマゾンプライムなどがあるが、基本料相当で払うにしても、電話が出来たりインターネット回線として汎用性がある支払いをするほうが妥当だと考える人が割合として増えているから、テレビ離れなんて起きているのではないか？そりゃ、販売してるアンテナを左旋対応に置き換えて、4K8K衛星放送対応チューナー搭載機器を出回らせれば土壤は出来ると思うが、加入するかどうかはまったくの別問題だ。</p> <p>実質、スカパーの専門チャンネルを見るには地上波&衛星放送に見たい番組があるかどうかに関わらず月2000円越えの基本料を払わなければならない体制について議論せず、BS周波数割り当てを4Kにしていくって、見る人のこと全然考えてないとか見えない。</p> <p>もっと料金体系について本質的な議論をするべきではないか？NHKの半民営化による基本料相当部分の抜本的な値下げとかやっていかないと、有料加入者の獲得に繋がらず放送事業者の体力が削れていくばかりだ。それこそコンテンツを作る体力だっていずれなくなる。絶対に見直すべきときに来ていると言いたい。</p> <p style="text-align: right;">【個人】</p>		
意見8-6 放送局の安い電波利用料を見直すべき。		
<p>○ BS右旋帯域とかよくわかりませんが、BSに限らず、日本の電波利用料は安すぎです。既存の偏向まみれの放送局が安い使用料で放送できている事自体を見直さないと。</p> <p>最低でも入札方式で数年ごとに入札して更新すべき。</p> <p style="text-align: right;">【個人】</p>	<p>電波利用料については、今回の意見募集の対象としておりませんが、いただいた御意見は参考として承ります。</p>	<p>無</p>
意見8-7 4Kの高画質で何か見ただけで、特に見たい番組はない。		
<p>○ 「空き帯域の4K放送への割当て」何が良いと思う？</p> <p>そりゃ国会中継やないの？</p> <p>俺もそう思うねんけどな、やっぱ需要はないのよ。</p> <p>「活用」するにはどうすればいいかって案なわけよ。</p>	<p>いただいた御意見は参考として承ります。</p>	<p>無</p>

<p>見る人が少なくても、こんな活用されてるとは言えんわな。 ほなニュース番組でも放送する？ そうやんな。でも夕方6時なんて見てみいよ。どこの局もニュースやない？ 違うの見たない？ せやな、そもそも4Kの高画質で何か見たいだけで、別に何も見たくないのと違うか？ そうやんな。</p> <p style="text-align: right;">【個人】</p>		
--	--	--